

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型 I R の実現に向け、平成30年度においては、事業者公募や区域認定申請に向けた準備等を行うとともに、昨年8月に取りまとめた大阪 I R 基本構想（案）中間骨子を踏まえ、ギャンブル等依存症対策など I R 立地に伴う懸念事項の最小化及び地域の合意形成に向けた府民・市民理解の促進等に取り組む。

平成30年度の主な取り組み

1 I Rの事業化に向けた検討

- ・ I R 推進会議等運営
- ・ I R 事業化検討支援業務委託

2 ギャンブル等依存症対策の推進

- ・ 依存症の予防に資する教育・啓発活動の推進
- ・ 全国をリードする依存症対策（＝大阪モデル）の構築

3 I R誘致に向けた理解促進

- ・ 府民・市民全体への情報発信
- ・ 女性・ファミリー層への情報発信
- ・ 地元企業への情報発信
- ・ 大学生・若い世代への情報発信

ギャンブル等依存症対策については、予防教育や正しい知識の習得が不十分であると言わざるを得ないことから、I R 誘致を進める中で、いち早く、依存症予防に資する教育・啓発活動に取り組むとともに、全国をリードする依存症対策（＝大阪モデル）を構築する。

主な取り組み

(1) 依存症の予防に資する教育・啓発活動の推進

(3,558千円) <新規>

① 高校生向け依存症予防啓発推進事業 (1,794千円)

高校生向けのギャンブル等依存症対策のリーフレットを作成し、依存症の予防に資する教育・啓発活動を府内の全ての高校3年生を対象に実施。

② 府内高校連携モデル事業 (1,320千円)

I R 推進局と府内の高校が連携し、依存症予防等に関する出前授業を実施。

③ ギャンブル等依存症セミナー (444千円)

府民・市民を対象に依存症の症状や治療法など、基本的な知識の普及啓発。

(2) 全国をリードする依存症対策（＝大阪モデル）の構築

(2,640千円) <新規>

I R 推進を契機に全国をリードする依存症対策（大阪モデル）を構築するため、全国に先駆け、現場の府市関係部局や有識者等で構成する実務レベルの依存症対策研究会を設置。

〈研究テーマ〉

- ・ ギャンブル等依存症の実態把握に向けた調査・研究
- ・ IT技術の進歩を踏まえた先進的な依存症対策の研究
- ・ 海外先進事例を踏まえた大阪独自の依存症対策のあり方研究

I R 誘致に向けた理解促進

(平成30年度 予算額 6,600千円)

平成29年度は府民・市民向けセミナーの開催を中心に、I Rに対する正しい理解の促進に取り組んできた。
平成30年度は、さらに府民・市民理解を進めるため、府民・市民の興味・関心に応じた戦略的な情報発信を展開する。

主な取り組み

(1) 府民・市民全体への情報発信 (4,179千円) <継続>

大阪がめざす I R の具体像や、府民・市民が懸念する依存症、地域風俗環境への対応等について、府民・市民向けセミナーを開催するとともに、リーフレットや動画等の広報ツールを活用し、府民・市民の理解を促進。

(2) 地元企業への情報発信 (964千円) <新規>

地域経済の担い手である地元企業の理解を深めるため、経済団体等への出前講座や、地元・中小企業向けビジネスセミナー等を開催。

(3) 女性・ファミリー層への情報発信 (566千円) <新規>

女性やファミリー層への関心を高めるため、女性向けの講演会等で情報を発信。また、女性・ファミリー層向けのミニパンフレットを作成し、P R を強化。

(4) 大学生・若い世代への情報発信 (891千円) <新規>

大学との連携により、大学生を対象にしたシンポジウムの開催をはじめ、若い世代が参加する研究会やセミナー等多様な機会を活用して情報を発信。